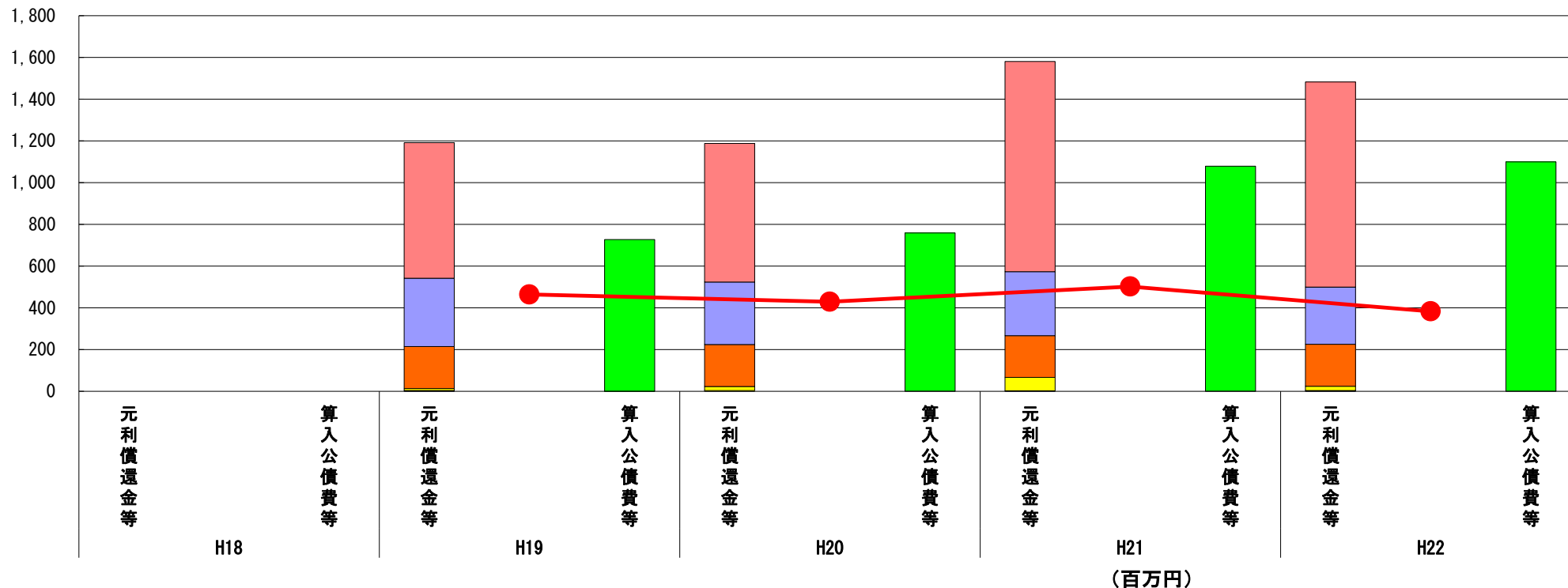


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

神奈川県湯河原町

(百万円)



分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金	-	650	664	1,007	983	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	328	300	307	275	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	201	201	201	201	
	債務負担行為に基づく支出額	-	9	19	64	21	
	一時借入金利子	-	4	4	2	3	
算入公債費等 (B)	算入公債費等	-	728	759	1,079	1,100	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	464	429	502	383	

分析欄
 元利償還金や債務負担行為に基づく支出額等は、減少傾向であり、算入公債費等については、事業費補正分は減少傾向にあるものの、公債費分は臨時財政対策債発行額の増加により増加傾向にある。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。